

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 産婦人科領域における Artificial intelligence (AI) 解析の臨床応用に関する研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 産婦人科 (研究責任者)池田 悠至</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2025年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 近年、コンピューター技術の発展に伴い Artificial intelligence (AI、人工知能)による情報解析が急激な進歩を遂げており、医療分野においても AI の応用が期待されています。産婦人科診療で用いられている ①子宮頸部異形成および子宮頸癌、膣癌、尖圭コンジローマ等の観察に用いるコルポスコピーの画像 ②腹腔鏡およびロボット手術の際の画像 の解析において、AIを導入することが、診療補助システムにならないかを検討する事を目的としています。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> この研究には診察時や手術時に記録される検査のデータや画像のデータを、どの患者さんのものかわからないように匿名化して、使用させていただきます。</p>
<p><対象となる患者さん> 2010年4月1日以降に当院産婦人科にて ①コルポスコピー下で病変の一部を採る検査をした患者さん ②腹腔鏡もしくはロボット手術下での手術を受けた患者さん を対象とします。</p>
<p><研究の方法> 診察時や手術時に記録される検査のデータや画像のデータを、どの患者さんのものかわからないように匿名化して、専門の医師と、株式会社 高度圧縮技術研究所と協力して Artificial intelligence (AI、人工知能)解析プログラムを構築し、その制度を検証します。</p>
<p><外部への試料・情報の提供等> 株式会社高度圧縮技術研究所へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者 池田 悠至が保管・管理します。</p>

< 研究組織 >

株式会社 高度圧縮技術研究所 代表取締役社長 秋元タカシ

株式会社 高度圧縮技術研究所 社員 Pavel Holoborodko

トーイツ株式会社 代表取締役社長 池田 一寛

< お問い合わせ窓口 >

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

産婦人科 氏名:池田 悠至

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2520 (PHS)8898

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)